

# スプレー菊の審査基準と 出品時の注意点について

(社) 全菊連公認指導員  
立川友治

## 1. (社) 全日本菊花連盟 全国菊花大会

### 審査基準 第2章切花

#### 14 スプレーギク

- (1) 花は鮮度を保ち、花と花が重ならず適当な間隔を保つこと。
- (2) 頂花が他の花より低い位置にないこと。
- (3) 着色蕾は残し、他の蕾は除去するのが望ましい。
- (4) 全体的にバランスが良く、支柱は美観を損ねないこと。

## 2. 第44回 社団法人全日本菊花連盟全国大会 南砺大会出品規定

### 3 出品規格

- (13) スプレー菊3株植え鉢作りは平成20年南砺大会より正種目とする。鉢の下端から最上位の花頂の高さが75cm以上、110cm以下とし、茎数は自由とする。鉢は菊鉢7号の駄温鉢、素焼き鉢、プラスチック製の菊鉢のいずれでもよい。鉢上面の水苔は取り除き、支柱は目立たないものを用いること。
- (14) 特別競技花大菊の切花5花組（異種異色）の出品は厚物系、管物系いずれか一人1単位1点とする。
- (15) 特別競技花スプレー菊切花5本組（同種同色）の出品は下記の9品種に限る。同種1点とし制限しない。草丈は花器の下端より最上位の花頂までの高さを90cm以下とし、支柱は使用しない。
  1. 南砺パラダイスサーモン
  2. 南砺バーミリオン
  3. 南砺ピンクパール
  4. 南砺サンセット
  5. 南砺エンゼルリップス
  6. 南砺ローズ
  7. 南砺ムーンライト
  8. 南砺アイボリ
  9. 南砺パッション
- (16) 切花3花組及び特別競技花（切花5花組・スプレー菊5本組）の花器は、開催地で用意し事前に申込みしたものに限り受付で貸与する。

### 出品時の注意点

出品規定、出品規格、審査基準、をクリアしたから入賞ときまるものではないので、次に入賞点数に絞り込みと順位をきめるための、比較審査で他のものより優位でなければならぬので、次の項を参考にされたいと思います。

3. 参考資料 日本の菊 第73号より抜粋

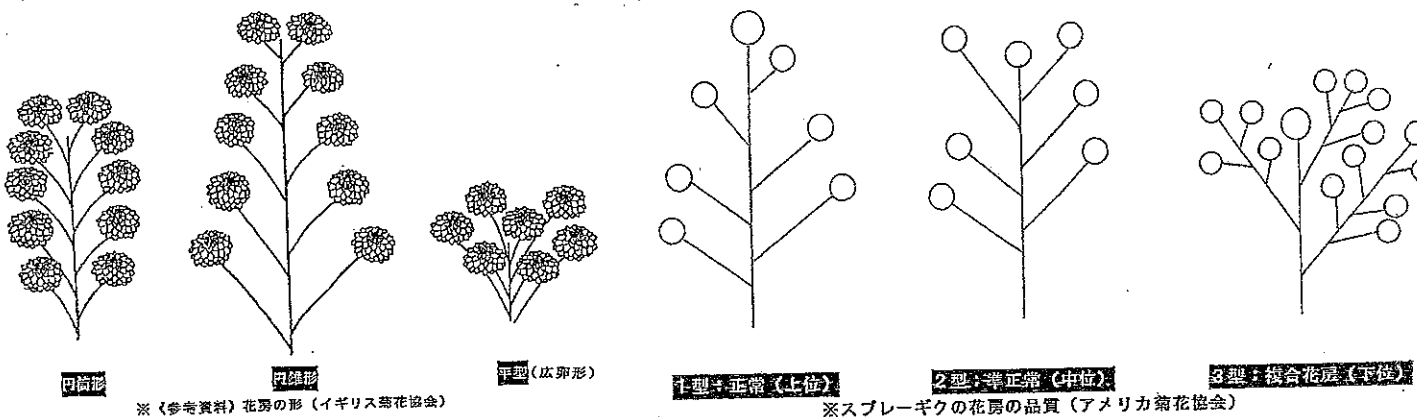
スプレー菊の切り花栽培 (社)全菊連 名誉会長 川田穰一

(1) 欧米における審査基準

- a 品種の特性を備え、優美（アメリカ）で、インパクトのあるもの（イギリス）でなければならない。
- b 花房の形が円筒、円錐あるいは広卵形にまとまっており(図1)、花は重ならず適当な間隔を保って配置され、どの方向からみても同じ形にまとまっている。やなぎ芽の発生によって分枝した切り花の出品は禁じられている。花数は多く、一斉にそろって咲いていること。花房の形が広卵形の場合、8輪以上、円筒形では20輪以上が望ましい。
- c 花は損傷が少なく、新鮮であり、小花の一部が未開花であること。
- d 茎は真直ぐで、基部を手で持って水平にしたとき、著しく垂下しないこと。すなわち、茎は花房に支えるに十分な強度があること。
- e 切り花の長さは花瓶に挿したとき最下位の花の基部が花瓶の上部より高い位置にあること。
- f 摘蕾・摘芽は行わず、自然の草姿に仕立てることを原則とする。しかし、頂花が早くあるいは低い位置で咲く場合は、頂花を着色期前に摘除してもよい。花首には1輪ずつ着花しており、花首の蕾は摘除する。摘除した蕾数は少ないことが望ましい。

(2) 出品

収穫した切り花は束にして新聞紙などに包んで水揚げする。ダンボールに詰めて運搬し、出品2～3時間前に再び基部を同じ長さに切断して水揚げし、この間に葉や花の形を整える。出品に当たっては、花瓶に指定された切り花本数をバランスよくオアシスなどを用い固定する。



※(参考資料)花房の形(イギリス菊花協会)

※スプレーギクの花房の品質(アメリカ菊花協会)

(図1)

(図2)

### 1 3 丁子菊

- (1) 花心の中心部の小花が未開であること。
- (2) 花心部は高盛りで半球形であること。
- (3) 花心部が歪んだものは劣る。
- (4) 外弁に長短なく正円形を呈していること。

### 1 4 スプレーギク

- (1) 花は鮮度を保ち、花と花が重ならず適当な間隔を保つこと。
- (2) 頂花が他の花より低い位置にないこと。
- (3) 着色蕾は残し、他の蕾は除去するのが望ましい。
- (4) 全体的にバランスが良く、支柱は美観を損ねないこと。

### 1 5 外国系大輪

別途取り扱う

### 1 6 切花三花組

- (1) 三花組物であるので、三花のバランス、色彩等を勘案すること。特に、三花の花型が同一であること、花期が同じであることや、葉についても注意すること。
- (2) 一花ごとの優劣は、「3 厚物」「4 厚走り」「5 管物」の基準に準ずる。
- (3) 三花のうち、最長花の茎の長さは花首下75cmとし、活け方はぐらつきがないようしっかり固定してあること。

## 第3章 福助作り

### 1 7 優劣を判定する条件

- (1) 花の優劣は切花に準ずるものとし、花を50点、葉を30点、調和を20点とする。
- (2) 鉢は5号鉢で仕立て、草丈は鉢の下端より、花頂まで45cm以下であること。
- (3) 支柱及びくくり紐は黒色のもので、クイックタイを使用する場合は黒色であること。

## 第4章 小菊盆栽

### 1 8 優劣を判定する条件

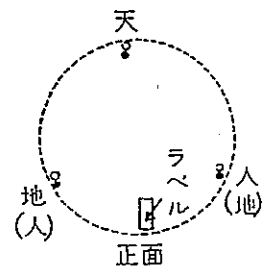
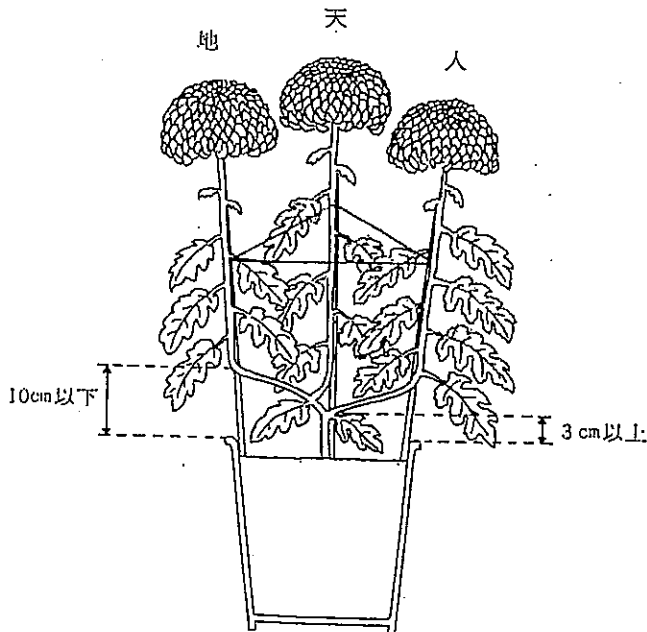
- (1) 根張りが力強く四方に放出していること。
- (2) 幹が太く、根元より徐々に細くなっていること。

## 三本仕立てだるま作り審査基準

### 優劣を判定する条件

- (1) 花の優劣は切花に準ずるものとし、三花は均等に咲いていること。
- (2) 三枝の分岐は、下図のとおりとする。
- (3) 三枝の立ち上がりは、分岐点より下がっていないこと。
- (4) 天・地・人の幹の配置は、天を後方に地・人を前方に立てること。
- (5) 支柱は、三幹とも幹の裏側に立ててあること。
- (6) 支柱及びくくり紐は、黒色で、クイックタイを使用する場合は黒色であること。
- (7) インバイトは、必ず付けてあること。
- (8) 培養土は、鉢縁より下がっていること。
- (9) 水苔は、取り除いてあること。
- (10) 鉢は7号鉢とし、草丈は鉢の下端より天の花の花頂まで65cm以下であること。
- (11) その他は、三本仕立て盆養作りに準ずる。

### 支柱の立て方



- ……支柱
- ……幹

三本仕立てだるま作り基準